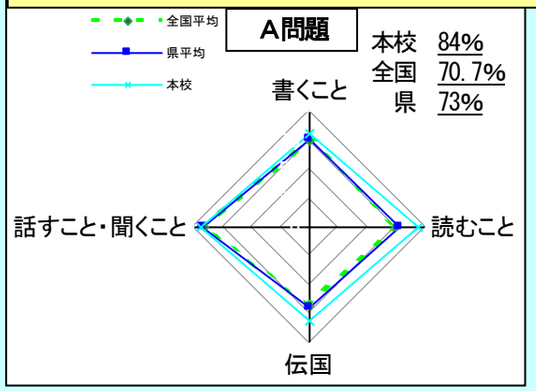
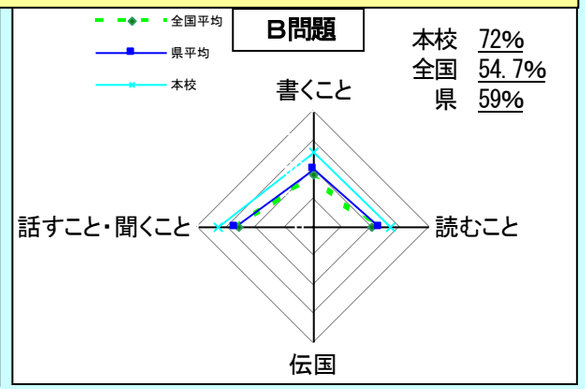
別紙３

指導方法等の改善計画について　〔国語科〕

呉市立両城小学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率





重点課題

【課題１】　A問題においては，文の構成において，主語と述語の関係を捉えることが難しく，主語と述語が正しくつながっている文を書く問題に課題が見られる。（設問5）（平均正答率53.3%）主語と述語が照応していない回答が33%であった。

【課題２】　B問題においては，目的や意図に応じて，複数の資料から必要な内容を取り上げて文章にまとめる問題（設問2－二）（平均正答率46.7%）に課題が見られる。虫歯を防ぐ効果について，情報を取り出すことができていない回答が40%であった。また，条件に沿って自分の考えをまとめる問題（設問1－三）（平均正答率 53.3%）に課題が見られる。これからの自分について書いていない回答が，31%であった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】　文章を読んだり，書いたり，話したりする活動において「主語と述語」「修飾と被修飾」の適切な関係について意識させるようにする。同時に，「だれが」，「いつ」，「どこで」，「なにを」，「どのように」，「なぜ」などという文の構成について捉えさせるようにする。

【課題２】・　書き手や話し手の目的や意図を明確にさせること，また，その目的や意図に応じて内容を的確に押さえて，中心文を捉えさせたり，要旨をまとめさせたりすることなどに重点を置いて指導する。
・　考えとそれを支える理由や事例との関係，事実と感想，意見などとの関係を押さえ，文章全体の構成を捉えさせるようにする。
・　捉えた内容に対する自分の考えを明確にさせながら，各単元学習を進めて行くようにし，条件を与えて自分の考えをまとめさせる場を積極的にもつようにする。
※　小中一貫した取組については，書く目的や意図に応じ，資料から読みとった必要な情報を組み合わせ，主語・述語に気を付け，条件に沿って表現できる力を育てる。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			６年・小テスト		６年・H30 全国学力A	５年・H30 全国学力A	
目標値			８０%		９２%	７５%	
実施後数値			９３%		９２%	７６%	

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			６年・小テスト		６年・H30 全国学力B		５年・H30 全国学力B
目標値			８０%		７９%		６５%
実施後数値			９３%		９６%		８１%

来年度に向けて

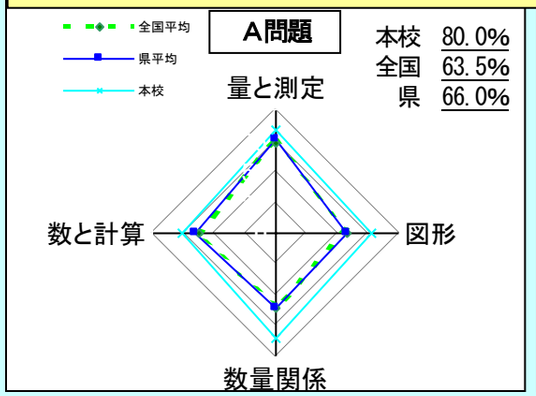
書く目的や意図に応じ，主語・述語に気を付け，条件に沿って表現できる力を育てる。

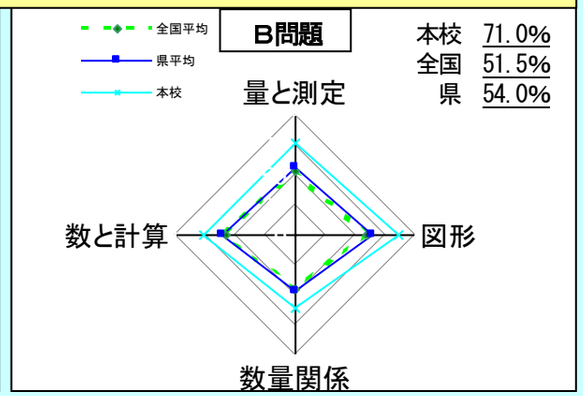
別紙３

指導方法等の改善計画について　〔算数科〕

呉市立両城小学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率





重点課題

【課題１】小数の除法の場面を選ぶ問題の通過率が低い。リボンを分割する選択肢は選べているが，１Ｌ当たりで何㎡塗れるかという単位量を問う選択肢が選べていない児童が 46.7%だった。（A設問2　数と計算　平均正答率 53.3%）

【課題２】棒グラフとメモの複数の情報から，総数や差に着目していることを解釈し，言葉や数を用いて記述する問題の通過率が低い。差についての解釈であることに気付いていない児童が 20%，差について解釈したメモであることに気付いているが，言葉による説明が足りない児童が 20%，無解答が 6.7%だった。（B設問3(1)数量関係　平均正答率 53.3%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】　示された情報と場面を，図や言葉等に表し，数量の関係を的確に捉える活動を増やす。また，数量の関係を表す図と，図から解釈できる演算に着目して説明する活動も取り入れる。

【課題２】　社会科，理科，総合的な学習の時間とも関連させ，日常生活の中で主体的に問題を見いだして情報を集めることや，表やグラフなどに整理して考察し，キーワードを明示し，必要な言葉を落とさず説明できるように指導する。

※　小中一貫した取組については，示された情報を解釈し，算数・数学用語を用いて，図と式を関連付けながら根拠を挙げて説明する力を育てる。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			６年・小テスト		６年・Ｈ３０全国学力Ａ	５年・Ｈ３０全国学力Ａ	
目標値			８０%		８７%	７０%	
実施後数値			１００%		８２%	６８%	

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			６年・小テスト		６年・Ｈ３０全国学力Ｂ		５年・Ｈ３０全国学力Ｂ
目標値			８０%		８０%		６０%
実施後数値			９３%		９１%		８１%

来年度に向けて

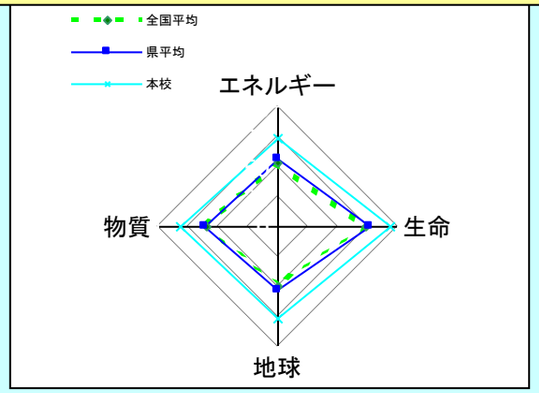
示された情報と場面を解釈し，算数用語を用いて図と式を関連付けながら説明する力を育てる。

別紙３

指導方法等の改善計画について　〔理科〕

呉市立両城小学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校　８３％
全国　６０．３％
県　６３％

重点課題

【課題１】　実験結果を見通して実験を構想したり，実験結果を基に分析して考察し，その内容を記述したりする問題の平均正答率が低い。(設問２（３）) 生命・地球（平均正答率 53.3%）条件について，流した水の単位時間あたりの量の増加ではなく，総量の増加を示す趣旨を記述している児童が 20%

【課題２】　太陽の１日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を，目的に合ったものづくりに適用できるかどうかをみる問題の平均正答率が低い。（設問３（４）) 生命・地球（平均正答率 46.7%）午後１時頃から午後３時頃だけプロペラが回るようにするという条件を読み落としている児童が 40%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】　理科の学習において，実験の計画を立て，その実験結果を考察し，自分の言葉で記述する活動を大切にする。

【課題２】　ものづくりの活動において，児童が実際に作ったものが目的に合ったものであるか振り返り，単元のめあてを確認したり目的に合うようつくり直したりする時間をとるようにする。

※　小中一貫した取組については，既習事項と実験結果を関わらせながら考察し，理科用語を正しく使って，説明する力を育てる。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			６年・小テスト		６年・Ｈ３０全国学力		５年・単元末テスト
目標値			８０％		８９％		８５％
実施後数値			１００％		９６％		８２％

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			６年・小テスト		６年・Ｈ３０全国学力		５年・単元末テスト
目標値			８０％		８９％		８５％
実施後数値			１００％		９６％		８２％

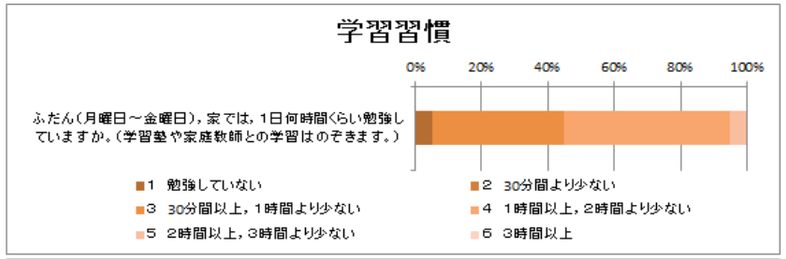
来年度に向けて

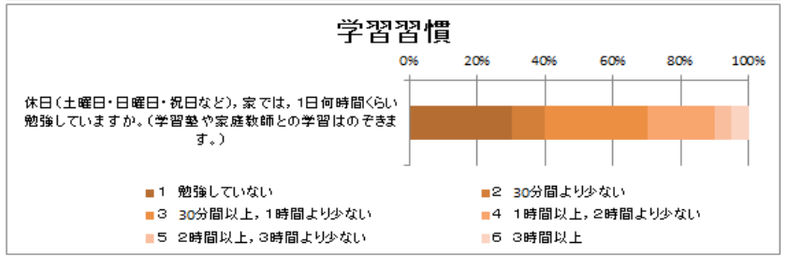
実験の計画を立て，その結果を考察し，理科用語を正しく使って説明する力を育てる。

別紙３

２　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

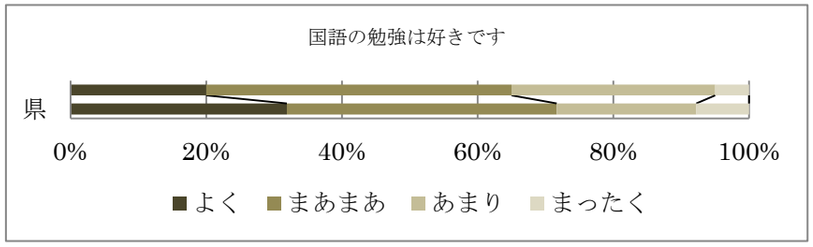
（１）生活・学習

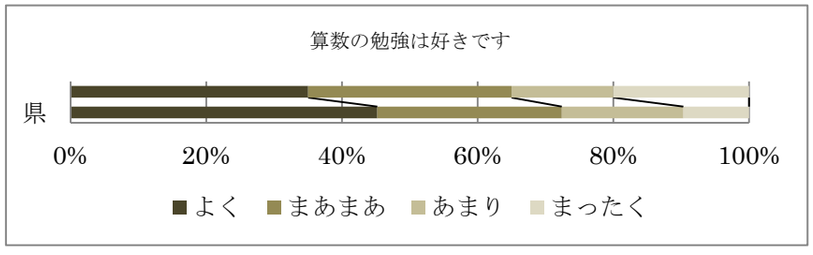


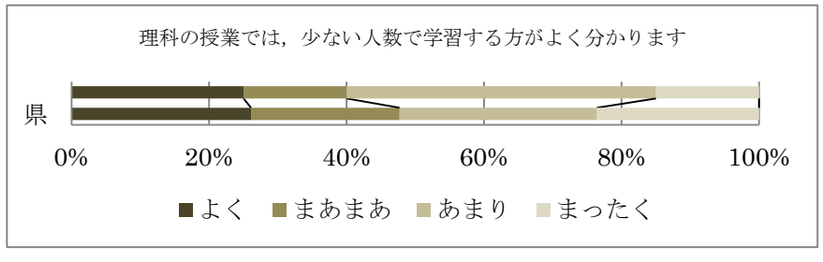


	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
基礎・基本	「ふだん家では，１日何時間くらい勉強していますか。」の項目で１時間以上の児童の割合が，５５％である。また，休日は３０％である。	児童や保護者に家庭学習目標時間を達成するよう呼びかける。また，家庭学習の量を少し増やす。	高学年	平日65% 休日40%	児童アンケート	１月	55% 26%	0 -4%
全国	「新聞を読んでいますか。」の項目で週に１回以上読んでいる児童の割合は，４０％である。	新聞の切り抜きを使った授業を行ったり，朝のスピーチで新聞を使用させたりする。	高学年	５０％	児童アンケート	１月	75%	35%

（２）教科







		児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	基礎・基本	「国語の勉強は好きです。」の項目にあてはまる児童の割合が６５％で，県平均を下回っている。	国語の授業において，リーフレットや新聞にまとめたり，役割に分かれて音読したりして，児童に国語の楽しさを十分味わわせる。	高学年	７０％	児童アンケート	１月	78%	13%
算数	基礎・基本	「算数の勉強は好きです。」の項目にあてはまる児童の割合が６５％で，県平均を下回っている。	数学的活動等，具体的操作をしながら思考を深める活動を多く取り入れ，児童に算数の楽しさを十分味わわせる。	高学年	７０％	児童アンケート	１月	89%	24%
	全国	算数Ｂの調査問題の解答時間が足りた児童の割合が７３．３％である。	時間内に問題を解く練習を繰り返し行う。また，図や絵を使い，問題を単純化して速く解く習慣を身につけさせる。	高学年	８０％	児童アンケート	１月	100%	27%
理科	基礎・基本	「理科の授業では，少ない人数で学習する方がよく分かります。」の項目にあてはまる児童の割合が４０％で，県平均を下回っている。	観察や実験・話合いを班で能率的に行い，グループ学習の良さを体感させる。	高学年	５０％	児童アンケート	１月	89%	49%
	全国	「理科の授業で，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか。」の項目にあてはまる児童の割合が８０％である。	・授業の中でペアトークやグループトークを多く取り入れ，説明や発表をする機会を増やす。 ・少人数の中で説明や発表をくり返すことで，一人一人に自信をもたせる。	高学年	８５％	児童アンケート	１月	94%	14%